



1月 学校だより 令和6年12月25日

ひがしおだ

今日より明日へ

「1年の計は元旦にあり」
お正月に1年の目標を
決めよう!



よいお年をお迎えください

冬至を過ぎ、いよいよ年の瀬が押し迫ってまいりました。今年も皆様のご理解とご協力のもと、いろいろな学習活動を無事終えることができました。子どもたちは、どの活動においても力いっぱいに取り組むとともに、日々の授業を大切にしながら、充実した学校生活を送ることができたと思います。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

令和6年もあと数日となりました。この1年を思い返しますと、令和6年元日には、震度7の能登半島地震、その翌日には羽田空港で飛行機同士の衝突事故が発生し、「この1年はどうなるのだろう」と不安の中での波乱の年明けとなりました。また、夏には、初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が出されるなど、今までにない対応を迫られることになりました。今後も様々なことがあると思いますが、更なるご支援を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

さて、明日から冬休みとなります。年末年始はご家族の皆様と過ごされる時間が多くなります。子どもたちがこれまでの生活を振り返り、新しい年への希望や意欲を育めるように励ましていただけると幸いです。また、この時期ならではの日本の行事や風習に触れながら有意義な冬休みを送ってほしいと思います。

それでは、皆様、よいお年をお迎えください。1月8日、子どもたちが元気な顔を見せてくれるのを楽しみにしています。

全国都市緑化かわさきフェアの取組に参加します

市制100周年記念事業の1つ（市内全域で花を育て、植えるムーブメントを展開）として、本校の児童もその取組に参加し、苗を育てます。苗を育てることで「感謝」「やさしさ」などの気持ちを育み、「探求心」や「想像力」を養うなど花育の効果が期待されます。

<今後のスケジュール>

- ・1月15日 学校へ苗が搬入されます。（265株）
- ・1月16日～ 苗の植え替え、水やりなどをしながら学校で苗を育てる。
- ・3月上旬 育てた苗の一部を川崎市が回収
緑化フェアの会場（富士見会場など）に飾られる。

東小田小学校は2025年70歳



東小田小学校は、2025年に70歳になります。1955年（昭和30年）6月21日、東小田小学校が誕生しました。（左の写真は開校時の写真です）小田小学校から分かれてできました。1年生から4年生までの子どもたち523人が東小田小学校で勉強をはじめました。昭和36年のピーク時には、全校児童数、1100人を超す大きな学校だったそうです。川崎市で最も古いA校舎は築68年になり、当時たくさん建てられたレンガ校舎（ブロック作り）は、本校だけに残っています。

校長 坂東 修